

令和4年 宮城県内の火災概況（速報値※）

※総務省消防庁へ報告された火災情報を集計、確定値は例年10月頃に公表されます。

（令和4年1月1日から令和4年12月31日まで）

1 出火件数

令和4年の宮城県内の総出火件数は562件で、前年（544件）に比べ18件（3.31%）増加し、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は2.48で、前年（2.40）に比べ0.28ポイント増加しました。1日当たりの出火件数は、平均で1.54件になります。

月別に見ると、3月の出火件数が75件（全体比13.35%）で最も多くなっています。また、四季別では昨年に引き続き春季に火災が多く発生しています。

表1 月別出火件数

区分	月別出火件数												総出火件数	出火率	1日当たり出火件数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
令和4年	49	39	75	74	49	56	41	36	28	31	38	46	562	2.48	1.54
令和3年	62	76	99	70	41	44	23	44	41	20	13	11	544	2.40	1.49
増減件数	△13	△37	△24	4	8	12	18	△8	△13	11	25	35	18	—	—

（※出火率：人口1万人当たりの出火件数）

表2 四季別出火件数

区分		四季別出火件数				合計
		春季	夏季	秋季	冬季	
令和4年	件数	198	133	97	134	562
	全体比（%）	35.2	23.7	17.3	23.8	100
令和3年	件数	210	111	74	149	544
	全体比（%）	38.6	20.4	13.6	27.4	100

春季3～5月，夏季6～8月，秋季9～11月，冬季12～2月

図-1 月別出火件数

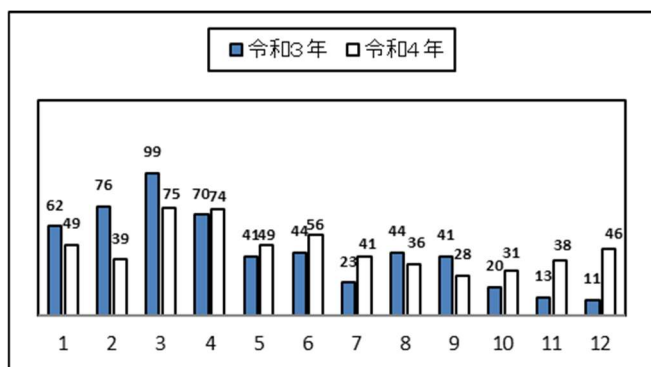
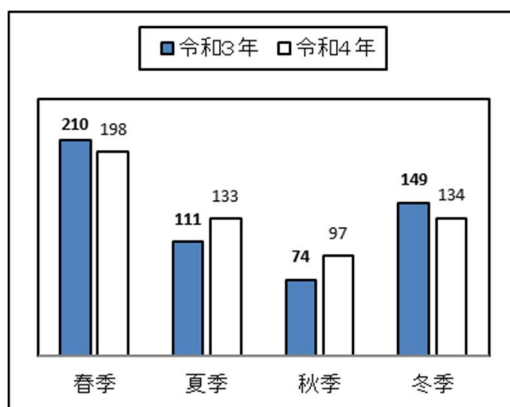


図-2 四季別出火件数



2 火災種別ごとの出火件数

建物火災が 328 件（58.4%）と最も多く、次に車両火災 59 件（10.5%）、林野火災 20 件（3.6%）、と続いています。

表 3 火災種別出火件数

区分		火災種別出火件数						合計
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和 4 年	件数	328	20	59	0	0	155	562
	全体比（%）	58.4	3.6	10.5	0.0	0.0	27.6	100
令和 3 年	件数	300	20	55	2	0	167	544
	全体比（%）	55.1	3.7	10.1	0.4	0.0	30.7	100
増減件数		28	0	4	△ 2	0	△ 12	18

3 出火の原因

出火の原因の第 1 位は「電灯・電話等の配線」の 51 件、以下「たばこ」の 48 件、「こんろ」の 40 件、「電気機器」の 30 件、「放火」の 28 件の順となっています。

表 4 出火原因別一覧表

順位	出火原因	件数	火災種別内訳					
			建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1	電灯・電話等の配線	51	23	0	2	0	0	26
2	たばこ	48	29	2	2	0	0	15
3	こんろ	40	40	0	0	0	0	0
4	電気機器	30	20	0	5	0	0	5
5	放火	28	18	0	2	0	0	8
6	たき火	24	4	4	0	0	0	16
7	放火の疑い	22	9	4	2	0	0	7
8	配線器具	21	19	0	0	0	0	2
9	ストーブ	19	18	0	0	0	0	1
10	火入れ（枯れ草焼き等）	17	2	1	0	0	0	14

4 死傷者

火災による死者は 25 人（うち放火自殺者 5 人）で、前年（22 人）に比べ 3 人増加しました。また、負傷者は 78 人で、前年の 103 人に比べ 25 人減少しました。

5 火災損害額

火災による損害額は 1,921,868 千円で、前年（904,661 千円）に比べ 1,017,207 千円増加しました。